

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターわかば園		
○保護者評価実施期間	令和7年2月26日 ～ 令和7年3月4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37 (回答者数)	33
○従業者評価実施期間	令和7年2月26日 ～ 令和7年3月4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者対応を丁寧に行っている。 （保護者を対象としたセミナーを定期的 に実施している）	・担任だけで判断せず、児発管等の意見も 取り入れたうえでの返事としている。 ・保護者にとって分かりやすいよう具体物 を提示したり、イメージしやすいようにし てる。	・内容がマンネリ化しないようにする。 ・新たな内容や、保護者のニーズに沿った 内容で行うようにする。 ・自ら発信することが難しい保護者への対 応
2	・子どもそれぞれに合わせた視覚支援やス ケジュール、要求カードを取り入れている。	・常に子どもの発達段階や理解に合わせた ものを使用し、提示の仕方等についても子 どもに合わせて変えている。	・成功や失敗も含め、事例を職員間で共有 しながら、日々努力しより良い支援に繋げ る。
3	・立地が良く、広い園庭、ホールがある。	・感覚遊具を組み合わせた運動遊びの実 施。 ・季節に合わせ、活動に生かしている。	・老朽化している遊具や設備の整備。 ・より生かすための活動内容の工夫。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物や設備の老朽化 （建物等の老朽化で見学に来られた保護者 から選ばれにくい）	・老朽化	・可能な範囲での施設整備や新しい物品の 購入
2	・活動内容のマンネリ化	・経験年数があるが故のパターン化 （職員は楽しみながら経験のある活動を展 開していることは強みではあるが）	・新しい研修に参加したり、情報収集を行 い、職員間で共有しながらわかば園らしい 活動として取り入れていけると良い
3	・仕事内容が多い	・IT化が進んでいない	・デジタル化できるものは変えていく ・仕事内容を再確認し、効率化する